

にいざ市議会だより



昨年の新座市民まつり収穫祭の様子

特集

目次

- P2 平成29年度決算を認定
- P3 新座市にこんな意見をしました
決算について意見を提出
- P4 新座市のこんなことが決まりました
9月定例会議案審議／オリパラニュース
- P5~11 新座市のこんなことを聞きました
一般質問ダイジェスト
- P11 全員協議会から
第二老人福祉センターの移転事業について など
- P12 議案等の審議結果
地方の声を国へ
関係機関に意見書を送付しました

芦野修議員 逝去

芦野修議員が、去る九月三十日に逝去されました。享年五十歳。

故芦野修議員は、平成二十四年二月、新座市議会議員に初当選以来二期にわたり、市政の枢機に参画し、その間総務常任委員会副委員長、文教生活常任委員会副委員長、新庁舎建設検討特別委員会委員長等の要職を歴任し、市政の発展に寄与されました。

ここに、故芦野修議員のご冥福をお祈りいたします。

11月	10月	9月	8月
29日 議会運営委員会 26日 議会改革特別委員会 19日 党・会派代表者会議 党・会派代表者会議 オリピック・パラリンピック特別委員会 栃木県那須塩原市行政視察来訪 第4回定例会開会	31日 朝霞地区一部事務組合議会 30日 定例会 26日 長野県松本市行政視察来訪 15日 議会運営委員会 10日 神奈川県厚木市行政視察来訪 朝霞地区議長会議員研修会 兵庫県西宮市行政視察来訪	28日 志木地区衛生組合議会定例会 27日 全員協議会 25日 第3回定例会閉会 20日 議会改革特別委員会 19日 議会運営委員会 議会運営委員会 第3回定例会開会 全員協議会 オリピック・パラリンピック特別委員会	29日 議会運営委員会 第3回定例会開会

議会日誌

次回 **12月定例会** 開会日 **11月29日(木)**
お知らせ

会期日程はHPに掲載しています。

新座市議会 検索

クローズアップ

平成30年9月定例会

新座市のこんなことが決まりました

平成29年度決算を認定

新庁舎建設、石神小学校校舎の大規模改修など

―平成29年度一般会計、特別会計、水道事業会計の決算を認定―

一般会計

質疑では、歳入について、「経常収支比率の状況も含め、現在の本市の財政状況について見解を伺う」平成28年度決算と比較して不用額が多いが、これだけの不用額が出たことについての見解は「財政状況が厳しいと言いが、実質単年度収支の黒字や財政調整基金の増加等を見ると、市民サービスを削るほど危機的状況ではないので

平成29年度会計別決算額

会計名	歳入	歳出	差引額	
一般会計	557億103万6,799円	536億4,441万1,070円	20億5,662万5,729円	
特別会計	国民健康保険事業	200億4,656万380円	192億7,973万3,800円	7億6,682万6,580円
	下水道事業	41億5,295万3,851円	40億3,268万3,568円	1億2,027万283円
	介護保険事業	93億3,128万8,221円	90億8,758万3,584円	2億4,370万4,637円
	後期高齢者医療事業	17億2,914万5,432円	16億8,993万5,514円	3,920万9,918円
	新座駅北口土地区画整理事業	9億5,496万2,385円	8億382万1,893円	1億5,114万492円
	大和田二・三丁目地区土地区画整理事業	49億3,187万6,239円	37億4,612万3,870円	11億8,575万2,369円
水道事業会計(税抜き)	収益的収支	25億878万7,951円	23億2,526万1,438円	1億8,352万6,513円
	資本的収支	3億9,417万8,978円	10億8,934万4,827円	▲6億9,516万5,849円

※資本的収入及び支出において不足する額については、損益勘定留保資金等で補填しました。

平成29年度主要な施策の成果の一部

事業名	支出額	実施内容
東京2020オリンピック・パラリンピックの推進	164万6千円	東京2020大会の成功に向けて、市民の気運の醸成を図り、大会を契機とした市の発展につながる取組を実施した。
法人保育園の施設整備に対する補助	5億7,140万6千円	待機児童解消のため、民間保育所整備に対し、建設費の一部を補助した。
子育て世代包括支援事業の実施	353万9千円	妊娠から子育て期にわたる様々な悩み等に対応するため、保健師等が専門的な見地から相談支援等を実施した。また、妊娠を望む夫婦の不妊検査に係る費用を、県の補助金を活用し助成した。
石神小学校校舎の大規模改修	6億983万円	昭和51年に建築した石神小学校校舎の老朽化対策を図った。
新庁舎建設	28億9,629万8千円	耐震性能の不足する市役所本庁舎について、耐震性能の確保や老朽化・狭あい化等の課題を解決するため建て替えを行った。



大規模改修が行われた石神小学校

はないか」、歳出について、「正規職員を多く採用するなどして職員の負担軽減を図るとしているが、超過勤務時間が減るなどの改善がされているか」「小規模工事・修繕について、相変わらず発注業者に偏りが続いているように思うが、偏りを無くす取組はしているか」「耐震診断・耐震改修助成について、本市は着実に進めていることを評価している。住宅の耐震化率の推移を見ると、平成27年度末が88.3%、平成28年度末が89%となっているが、平成29年度は何%か」「移動支援事業は、障がい者の社会参加という面で大事な事業だと思いが、利用者が178名から159名に減っている。利用が広ま

らない原因は何か」「雨水貯留槽設置費補助の交付件数が少ないが、大雨時の有効的な施策として、各家庭を進めていただくと同様に、法人等にPRして設置数を増やしていく努力が必要であると思うが、防災・水害対策という観点での啓発はしたのか」などがあり、4常任委員会に分割付託して審査した。

本会議では、「市民生活は大変厳しい状況にある。市民生活にしっかりと目を向け、市民要望に寄り添った財政運営が行われていたか」という点で、やはり問題はあると考えている」「いつ来るかわからない地下鉄12号線に基金を毎年3億円も積み立ててきて、さらに基金を存続していくというのは疑問である。事業の優先順位を考え

るなら、お金を貯めておく余裕はないのではないか」「保育園の待機児童解消が待ったなしの状況なのに、大型事業がほとんど同時並行で進んでいったことは問題である」などの反対討論、「歳入の総額は、前年度比8.7%増の557億103万7千円で、そのうち市税は1.7%の増と、前年度に続き順調に伸びている。都市計画税の税率変更も要因として挙げられるが、徴税に対して職員がきちんと取り組んだ結果だと高く評価する。また、新庁舎に移転し、ワンストップサービスが進み、コンシェルジュの配置等、市民の利便性が大いに向上したことを高く評価する」「大和田二・三丁目地区土地区画整理事業の施行に伴い、くるみの木施設を大和田四丁目地内に移転するため、新規施設の整備を行ったことや、野寺放課後児童保育室の大規模化・狭あい化の解消を図るため、空き教室を改修したことを高く評価する」「ココフレンド事業において、平成29年度は大和田小学校で夏期休業中にプログラミング教育等を実施したが、こういった取組は評価する」などの賛成討論の後、4常任委員会委員長報告のとおり賛成多数で認定した。

特別会計

国民健康保険事業
厚生常任委員会で審査し、本会議では、「平成27年度と平成28年度の単年度収支は赤字だったが、平成29年度は5千29万円の黒字であり、現金の手持ち金が増えて平成30年度がスタートした。この点からも値下げをすべきだったのでないか」などの反対討論、「支出の57%は保険給付額で109億8千548万円で、疾病、傷害、出産、死亡等に影響される。また、一般分は92億6千751万円で、全体の給付額は前年度より減少している。その中で、平成29年度決算は適切に支払いされたことを評価する。また、生活習慣病重病化予防事業、後発医薬品利用差額通知、医療費適正化対策、特定健康診査等の事業に取り組んだことを大変評価する」などの賛成討論の後、委員長報告のとおり賛成多数で認定した。

後期高齢者医療事業
厚生常任委員会で審査し、本会議では、「本事業は、75歳以上のこれから医療費が掛かる世代を切り離す制度であり、また、色々な世代が仲良く助け合っているという日本古来の精神がない制度だと思いうので反対する」との反対討論の後、委員長報告のとおり賛成多数で認定した。

下水道事業
質疑では、「昨年の9月議会において踏み込んだ議論がされたので、かなり溢水対策が進むと期待していたが、本年8月にも同じ地域で同じような被害が出た。1年が経過したが、担当としての考え

新座駅北口土地区画整理事業
建設常任委員会で審査し、本会議では「平成30年度からは社会資本整備交付金の補助率が10分の5.5から10分の5に変更になりました。厳しい状況が続いているなか、厳しい財政状況下でいながら、さらに財政に負担を与えるような状況になってしまっていることについて大変疑問に思う」との反対討論の後、委員長報告のとおり賛成多数で認定した。

大和田二・三丁目地区土地区画整理事業
建設常任委員会で審査し、本会議では「市の財政が厳しいということでも福祉の予算が削られ、また市民要望が高く、新たに予算要望をしても予算化されないものもたくさんあった。大型事業が複数重なったことで平成29年度の財政運営が厳しくなった。その大きな要因の一つがこの区画整理事業ではないかと思わざるを得ない」などの反対討論、「本事業は、将来の本市にとって欠かせない事業であり、一般財源や起債を極力抑えるため、保留地処分金が使われている。心配されていた溢水対策も総貯水量1万6千900m³の調整池を設置するなど、着実な対策も採られている。今後、大型店舗も開店し、市民の利便性向上にもつながっていく。完成まで無事故での工事の遂行を要望する」などの賛成討論の後、委員長報告のとおり賛成多数で認定した。

水道事業会計

建設常任委員会で審査し、本会議では、委員長報告のとおり全会一致で原案可決及び認定した。



クローズアップ

平成30年9月定例会

新座市にこんな意見をしました

次年度の予算編成に向けて決算に意見を提出

一 一般会計

総務常任委員会

- 1 東京2020オリンピック・パラリンピック推進は、市民の気運の醸成を図るとともに、市の発展につながる取組に努めること。
- 2 シティプロモーションに関しては、市の魅力を発信し、ブランドイメージの向上に努めること。
- 3 都市高速鉄道12号線の延伸促進については、課題解決に向けた調査・研究を行い、東京都、埼玉県及び関係市区と連携・協力を図り、市民・関係地権者等に対して適切な情報の提供に努めること。
- 4 増大する業務と多様化する市民ニーズに応えるため、適切な職員採用及び人員配置を行うこと。
- 5 非正規雇用職員の雇用条件の更なる改善に努めること。
- 6 男女共同参画については、幹部職員及び審議会等における女性登用率の向上に努めること。
- 7 職員の負担軽減と経費節減を図るため、ICTの活用を積極的に進めること。また、電子自治体実現のための人材育成に努めること。
- 8 家具転倒防止器具の普及、消防団・自主防災会の強化・育成、防災備蓄品の充実に努め、避難所を強化し、防災のまちづくり施策を進めること。
- 9 台風や集中豪雨などの水害による被害を抑えるため、引き続き水防対策の強化をすること。

- 10 税の徴収については、実態の精査を確実に実施して、市民生活の維持に十分配慮し、引き続き収納率向上に努めること。
- 11 公共工事発注、物品購入については、地域経済振興のため、今後も市内業者に十分配慮した入札制度に努めること。また、小規模工事・修繕についても、より多くの業者が受注できるように配慮すること。

文教生活常任委員会

- 1 新座市空家等対策計画の着実な推進をすべきである。
- 2 市民の声を広く取り入れ、にバス等の充実と併せて、デマンド型交通の導入に向けた研究をすべきである。
- 3 地球温暖化防止を進めるため、自然エネルギーを積極的に取り入れられる施策を検討すべきである。
- 4 台風や集中豪雨等による被害を軽減するため、雨水貯留槽の設置を推進すべきである。
- 5 全国一ごみが少ない市を目指し、ごみの減量化と再資源化を推進し、ごみ分別の周知徹底とリサイクル意識高揚を図る努力をすべきである。
- 6 地域経済活性化のため、商業や農業への支援策等について調査・研究し、強化すべきである。
- 7 振り込め詐欺等、消費者トラブルの被害防止のための施策を充実すべきである。
- 8 子どもたちと向き合う時間を増やすために、教職員の多忙化

厚生常任委員会

- 1 障がい者(児)やその家族が地域で安心して生活できるように、相談支援体制の充実を図るべきである。
- 2 障がい者の就労支援や社会参加、医療費助成を推進すべきである。
- 3 虐待防止や育児不安の解消に向け、情報交流、相談機能の充実を図り、子育て支援体制を引き続き拡充すべきである。
- 4 待機児童の解消に向け、認可保育園の新増設・改修を進めるべきである。また、保育士確保のために、処遇改善費などの補助拡大を図るべきである。
- 5 地域子育て支援センターに寄せられた情報を共有化し、市民が子育ての問題を解決できるシステムを整えるべきである。
- 6 新座市児童センターの駐車場の増加を図るとともに、市北部地域において、児童センターの新設を検討すべきである。
- 7 こども医療費助成への補助拡充に向け、引き続き県への要請

建設常任委員会

- 1 「道路改良10か年基本計画パートⅢ」(平成23年度～平成32年度)の着実な推進に努めるべきである。
- 2 道路維持補修費の予算の増加及び確実な執行に努めるべきである。
- 3 耐震診断・耐震改修については、「改定新座市建築物耐震改修促進計画」の目標達成のため、制度の周知を図り、執行に努めるべきである。
- 4 多くの市民が憩える魅力ある大型の公園を整備するとともに、維持管理を円滑に行うべきである。
- 5 「新座市緑の基本計画アクションプラン」を着実に推進し、緑の保全・創出及びグリーンサポーターの会員拡大に努めるべきである。

特別会計

厚生常任委員会

- 1 特定健康診査を更に拡充し、受診率を高め、市民の疾病予防及び健康維持に努めるべきである。
- 2 後発医薬品利用差額通知、生活習慣病重症予防対策事業及びレセプト審査等の事業は、引き続き強化すべきである。

建設常任委員会

- 1 水道管の耐震化及び老朽化対策の工事は、早期に推進すべきである。
- 2 水道技術の確実な継承に取り組むべきである。

水道事業会計

- 1 地権者の意向を尊重しながら、健全な財政計画の下、事業計画に基づく執行を図るべきである。

◎新座駅北口土地区画整理事業

- 1 昨今の集中豪雨を鑑み、溢水対策は喫緊の課題である。雨水管理総合計画を着実に策定し、溢水対策は下水道課だけではなく、全庁を挙げて検討し、貯水池を建設する等、総合的な対策を講じるべきである。

建設常任委員会

- 1 保険料減免制度の周知を更に進めるべきである。

◎下水道事業

- 1 昨今の集中豪雨を鑑み、溢水対策は喫緊の課題である。雨水管理総合計画を着実に策定し、溢水対策は下水道課だけではなく、全庁を挙げて検討し、貯水池を建設する等、総合的な対策を講じるべきである。

インターネット中継

本会議の様様をライブ配信(生中継)・録画配信しています。ホームページからアクセスしてください。

スマートフォン・タブレットでも!

新座市議会中継 検索



クローズアップ

平成30年9月定例会

新座市のこんなことが決まりました

9月定例会 議案審議

第二老人福祉センターの建設 工事に必要な経費等

—平成30年度一般会計補正予算
(第3号)を可決—

既定の歳入歳出予算に、22億285万6千円を追加し、総額を517億8千868万9千円とするものである。

歳入の主なものとしては、普通交付税の交付決定額が当初予算を上回ったことから、地方交付税2億1千754万3千円を増額するとともに、臨時財政対策債の発行可能額が増えたこと等により、市債7億6千950万円を増額するほか、新たに内示等のあった国・県支出金等について予算措置をするものである。

歳出の主なものとしては、危険なブロック塀の撤去費等への助成や小・中学校のブロック塀等の改修に係る経費を始め、第二老人福祉センターの建設工事や野火止運動場野球場の改修に必要な経費等を措置するものである。

なお、第二老人福祉センターの建設工事については、工事期間が



改修予定の東北小学校のブロック塀

次年度にわたることから、併せて繰越明許費の措置をするものである。

また、引き続き厳しい財政運営が見込まれる中で、できる限り財政調整基金へ積み立てる必要があることから、本補正予算の収支差金14億2千54万1千円については財政調整基金に積み立てるものである。積立て後の財政調整基金の残高は16億5千23万5千円となる。

継続費については、志木駅南口駅前広場等整備事業に係る設計変更に伴い、総額及び年割額を変更するものである。

債務負担行為については、財務会計システム構築運用事業、住民基本台帳ネットワークシステム(第V期)借上事業及び老人福祉センターマルチ温水器借上事業について設定するものである。

質疑では、「生活保護世帯の子ども進学準備給付金について、これまで子どもが大学に進学する場合に世帯分離をして違う世帯として取り扱っていたが、特に変更はないのか」「野火止運動場の管理棟改修及びトイレ改修につい



野球場として整備される野火止運動場

て、建て替えと捉えてよいか確認したい」「保健センターの事務室の狭あい化をどう考えているか」「こもれび通りの歩道整備について、普通、測量や実施設計をすればその後整備をしていくという流れなわけだが、市として積極的な方向でやると受け止めていいのかわるか」「商店街活性化推進事業補助事業の見直しについて、県の消費庁行政活性化補助金が減額された事情について聞きたい」「野火止運動場は市でイベントがあるときは駐車場にしていたが、グラウンド改修及び芝生の整備後はどう対応していくのか」「危険ブロック塀の撤去等に係る助成について、300万円の予算では不十分になるのではないかと」「4常任委員会に付託し、審査した。

歳入歳出予算について、5億4千153万2千円を減額し、総額を28億4千913万3千円とするものである。

工事等委託料の減額と変更事業計画作成委託料及び道路等築造工事費等の増額
—平成30年度新座都市計画事業大和田二・三丁目地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)を可決—

歳入歳出予算について、5億4千153万2千円を減額し、総額を28億4千913万3千円とするものである。

歳入については、国庫支出金3千225万7千円、基金繰入金4千486万4千円、前年度繰越金3億8千500万1千円をそれぞれ増額し、一般会計繰入金3千485万4千円、区画整理事業債9億6千880万円をそれぞれ減額するものである。

歳出については、工事等委託料9億5千554万4千円を減額し、変更事業計画作成委託料302万8千円と道路等築造工事費2千500万円をそれぞれ増額するものである。また、基金積立金3億8千598万4千円を増額するものである。

さらに、調整池等の整備を来年度に先送りしたことから、工事等業務委託の期間延長や予算措置が行えるよう、債務負担行為を追加で設定するものである。

本会議では、「長雨と大雪の影響で調整池の工事が先送りされたことによる事業費の減額と、そのための債務負担行為の新規設定に伴う財源内訳の変更であり、総事業費は約106億円に変更はないという内容だったので、今回は賛成とした」などの賛成討論の後、建設常任委員会委員長報告のとおり賛成多数で可決した。

本会議では、「マイナンバーカードを普及させるためにどうしたらいいか」という議論になっていくことについてとても戸惑いがある」などの反対討論、「生活保護受給世帯の子どもへの進学準備給付金についての予算が措置されたことは、教育の機会の平等を保障するものとして高く評価する」「ブロック塀の撤去や築造を助成し、市民の安全を守るといふ制度が県内でも早く実現されたことを大変評価する」などの賛成討論の後、賛成多数で可決した。

重度心身障がい者医療費の支給の制限を定める
—新座市重度心身障がい者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例を可決—
重度心身障がい者医療費の支給の制限を定めるとともに、受給者証の交付に係る手続を改めるため、提案するものである。
本会議では、「重い障がいのある人たちは、いつ体調を崩すか、いつ働けなくなるかという不安を常に抱え、治療を続けながら懸命に働いている。そういう人たちの医療費の助成を所得制限によって



児童発達支援センター建設予定地(堀ノ内二丁目)

対象から外すことは、障がいがある人もなくとも共に生きようという理念にそぐわない」などの反対討論の後、厚生常任委員会委員長報告のとおり賛成多数で可決した。

(仮称)新座市福祉型児童発達支援センター建設工事の請負契約を締結
—工事請負契約の締結についてを可決—

(仮称)新座市福祉型児童発達支援センター建設工事の請負契約を締結するため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、提案するものである。
本会議では、「契約に当たり、受注業者と周辺の住民に対する配慮についてどのような話をしていくのか」「児童発達支援センターの職員体制はどうなるか。また、センターの機能に対してどう考えているか」「今はみどり学園とわかば学園はそれぞれ別のバスで児童を送迎しているが、2台のバスによる送迎は継続すると考えていいか」「保育所等訪問支援事業は全国的に見てもなかなか使えていないのが現状だが、そういうことについての研究は今後していくのか」などの質疑の後、全会一致で可決した。



競技用義足体験



ポッチャ体験

オリパラニュース
オリンピック・パラリンピック特別委員会の取組を報告します。
8月19日、2年前イベントとして、新座市民会館で「新座市アスリートトークショー&パラリンピック競技体験会」が開催され、オリンピック・パラリンピック特別委員会の委員も参加しました。
トークショーではバドミントン元日本代表・潮田玲子さん、ウィルチアールラグビー(車椅子ラグビー)元日本代表・三阪洋行さんに講演いただき、競技と出会ったきっかけやオリンピック・パラリンピックの魅力等を伺いました。また、「ポッチャ」や「競技用義足」を体験し、パラリンピック競技に対する理解を深めました。

市政に問う!

一般質問

ダイジェスト

新座市のこんなことを聞きました



公明党 鈴木 秀一

生活保護世帯へのエアコン設置補助制度を周知すべき

エアコン未設置の生活保護世帯には、設置費用の補助があることを周知すべきではないか。また、生活保護を受けていない低所得の世帯にも、補助すべきではないか。

設置費用の支給には要件の確認が必要なので、担当のケースワーカーを通じて支援に努めている。低所得世帯に対しては、生活状況を見極めた上で、社会福祉協議会の貸付制度等の活用を案内していく。



政和会 中村 和平

新座版グリーンツーリズム事業の今後の方針は

グリーンツーリズム事業は、観光を通じて、市民の愛着の醸成や市外から人を呼び込む方法として推進してきたが、今後は事業の効果的な推進のために見直しを図っていく。食物を観光の目玉にするというような施策は、今後終息する方向で考えている。

脳ドック受診に対する助成を検討すべき

死因の8・4%を占める脳血管疾患は治療より予防が重要であり、全国で脳ドック受診に助成する自治体が増えている。本市でも助成を検討すべきではないか。

脳ドックが脳血管疾患の早期発見に有効であることは承知しているが、朝霞地区4市内では受診できる医療機関が限られている。財政上の問題もあり、直ちに助成を行うことはできない。

児童の学習支援として公民館等に学習室の設置を

予約のない部屋の開放を拡大できないか検討したい

東京都では公民館やコミュニティセンターを活用して学習

文部科学省の調査によると、平成28年4月1日現在、本市の小・中学校にはトイレが1千345基ある。洋式化率は87・5%だが、100%を目標として洋式化してはどうか。

小・中学校では、屋外にもトイレを設置しており、大半が和便器である。残された約1割の和便器、特に屋外トイレについては、新座市基本構想総合振興計画後期基本計画に基づき、順次整備を進めたい。

水道道路から産業道路までの開通状況は

現時点での事業化は未定である



東久留米志木線と水道道路の交差点

コーナーを設置している。本市でも部屋を開放して学習室を設置できないか。

野火止公民館では予約のない部屋を自習室として開放しているが、この方法を他の公民館にも導入できないか検討したい。



野火止公民館では一部の日程で空き部屋を自習室として開放



政和会 池田 貞雄

ドローンを導入し、災害時の情報収集等に活用を

ドローン活用による効果や導入の必要性を調査・研究する

今後、本市におけるドローン活用による効果や導入の必要性について調査・研究を行い、必要に応じてドローンの運用実績のある事業者との災害時応援協定の締結を検討していきたい。



公明党 滝本 恭雪

災害時避難行動要支援者支援のための対応、課題等は

要支援者の対象者要件の見直しを優先的に実施する

災害時避難行動要支援者への支援を適切かつ円滑に実施するため、市が把握している全体的な簿の絞り込み作業の状況と定期的な更新作業、町内会との連携、今後の課題について伺う。

避難行動要支援者支援制度実施要綱に基づく要支援者の対象者要件の見直し及び要綱の改正を今年度中に実施予定である。また、制度の趣旨等を町内会に周知し、対象者要件の見直し等の今後の課題も順次解決に努めていく。

日本庁舎跡地に整備予定の駐車場のコインパーキング化を急に検討していく

市役所旧日本庁舎跡地に整備予定の駐車場を、観光に訪れた方々のコインパーキングとして活用できないか、市の考えを伺う。

駐車場出入口にはゲート等を設置する予定なので、コインパーキングとしての活用も可能となる。今後、具体的な駐車場の管理・運用方法を検討していく。

区8-7号線接続部分の丁字路の安全対策を

更なる安全対策としてカーブミラーを設置した

区8-7号線は、大和田二丁目三丁目地区土地区画整理事業に伴い、新しく清瀬市に接続した道路だが、接続部分の丁字路が非

小学校区の通学路に見守り用カメラを設置しては

設置方針について他市等の状況を調査しながら検討する

児童の登下校時における身の安全を守るため、小学校区の通学路に見守り用カメラを設置してはどうか、市の考えを伺う。

常に危険である。安全対策が必要と思うが、市の考えを伺う。

通行車両に減速や停止を促すよう路面標示を施工しているが、議員からの指摘を受け、更なる安全対策としてカーブミラーを設置することとした。最適な設置位置が清瀬市の管理道路となることから、同市に設置を依頼し、8月15日に設置が完了した。



安全対策としてカーブミラーが設置された丁字路

果と改善が必要な箇所の予算措置も含めた対応策について伺う。

建築基準法に合致していないブロック塀は21箇所あった。すぐに着手できるものは夏休み中に工事を進めており、複雑で大規模となる工事は今定例会に設計費を計上している。



職員によるブロック塀の安全基準の点検

市政に問う! 一般質問

ダイジェスト



公明党 亀田 博子

保育料の寡婦控除のみなし適用について市の取組は市のホームページ等で制度の周知をしていく

Q 未婚のひとり親世帯に対する寡婦控除のみなし適用について、法令改正により国で制度化された。保育料への適用には対象者自身の申請が必要だが、市で対象者は把握できているか。

A 今回の改正に伴う特例の対象者を全て把握するのは難しい。市のホームページ上で制度の周知を行うほか、保育園の入所申請時の調査で対象者を把握できた場合は、個別に案内を送付するなどして事務を進めたい。



日本維新の会 塩田 和久

市民総合体育館内の施設を入れ替えるべきでは利用人数が多い施設を設置するという考え方はない

Q 市民総合体育館内にある利用頻度の低い施設は廃止し、現在市民が求めている施設を設置すべきと考えますが、市の見解を伺う。

A 利用者から新しい施設を設置してほしいという具体的な要望等は出ておらず、必ずしも利用人数が多い施設だけを設置するという考え方はない。しかし、利用頻度が低いままにしておくわけにはいかないため、更なる利用拡大に向けて努力する。

部活動の在り方について教育委員会の取組は本年11月を目途に市のガイドラインを策定したい

Q 本年7月に示された埼玉県の一部活動の在り方に関する方針に基づき、市は明確なガイドラインを定め、生徒や保護者に徹底すべきと考えますが、教育委員会の取組を伺う。

A 朝霞地区4市で協議・調整を図りながら、本年11月中の策定を目途に作業を進めている。

ユニバーサルマナー検定の受講に取組む他市の動向を調査しながら調査・研究を進めていく

Q 本市は東京2020パラリンピック競技大会の会場市であり、心のバリアフリーを進める意味でも、ユニバーサルマナー検定

自殺対策の啓発としてマグネット等を配布しては新座市自殺対策推進協議会の意見を踏まえて検討する

Q 自殺対策の啓発として、このころの相談窓口等の周知が肝心である。以前提案した窓口の連絡先が書かれたマグネットやシールの配布について、検討状況を伺う。

A 今後の周知、啓発方法については、新座市自殺対策推進協議会の意見を踏まえて検討する。

児童センター(本多)の駐車場の増設すべきではこれ以上の増設は難しい状況である

Q 遠方から車で訪れる利用者が多数いるにもかかわらず、駐車スペースが足りていない。増設等の対応を図るべきと考えますが、市の見解を伺う。



増設要望がある児童センターの駐車場

の受講に取り組めないか。認定に当たっては費用負担が発生することから、既に導入している他市の動向を調査しながら、調査・研究を進めていく。また、職員の研修や事業者向けの説明会等の機会を活用して、検定について周知していきたい。



ユニバーサルマナー検定2級認定証

A 敷地内に29台分の駐車スペースを整備しているが、これ以上増設することは難しい状況である。そのため、多くの参加者が見込まれるイベントを開催する場合は、近隣の店舗等に協力いただき、臨時の駐車場を設ける対応を図っている。



政和会 平野 茂

キッズページの創設を市のホームページ内に作成するよう準備を進める

Q 児童・生徒向けに、市の歴史や取組を分かりやすく伝えるためのホームページを創設しては。

A キッズページの新たな構築は費用面で難しいので、既存システムを使用して現在の市のホームページ内に作成し、準備ができ次第ページから順次公開していく。

災害時応援協定を締結しては締結に向け協議する

Q 災害時に桜蔭学園ひばりが丘運動場を利用させていただけるよう、同学園と災害時応援協定を締結してはどうか。

A 桜蔭学園に確認したところ、協力可能とのことだった。今後、同学園との災害時応援協定締結に向け、具体的な活用方法等について協議していきたい。

大和田運動場サッカー場整備の進捗状況は平成31年1月下旬の工事完了後に供用開始予定である

Q 大和田運動場サッカー場と周辺整備について、現在の進捗状況と今後のスケジュールを伺う。

A このサッカー場は、大和田二・三丁目地区土地区画整理事業に伴い、昨年7月に閉鎖し、新たに人工芝のサッカーグラウンドを整備するものであるが、既に



大和田運動場サッカー場整備予定地



公明党 野中 弥生

網膜芽細胞腫の早期発見への取組はチラシを乳幼児健診で配布し周知する

Q 網膜芽細胞腫は、白色瞳孔や斜視等の症状が現れ、乳幼児健診でチェックできれば、早期発見につながるため、健診項目への白色瞳孔等の追加、チラシ等での周知について伺う。

A 乳幼児健診で医師が記入する診察所見に白色瞳孔の項目を追加予定で、保護者の質問に網膜芽細胞腫を掲載する。3〜4か月児健診に加え、9〜10か月児健診、1歳6か月児健診でもチラシを配布する。

支援を必要とする妊婦への早期支援についての見解はこども支援課での母子健康手帳等の面接交付を検討中

Q 妊婦の抱える悩みに早期に対応できるように、市役所でも保健センターのような相談体制を整えられないか、市の見解を伺う。

A こども支援課窓口にて、保健センターから派遣される母子保健コーディネーター・助産師を配置し、母子健康手帳等の面接交付ができるよう検討している。

児童虐待防止について、増加する相談への対応等は関係機関と連携し要保護児童早期発見・保護を図る

Q 増加する児童相談への対応状況、児童相談所全国共通ダイヤル・オレンジリボン等の周知・啓発、保育所等との情報共有・連

189 虐待かもと思ったらいちやく189番へ

児童相談所全国共通ダイヤル(画像は厚生労働省のホームページから)

市政に問う! 一般質問

ダイジェスト



日本共産党
工藤 薫

Q 市役所や公共施設に冷水機や給茶機の設置を

本庁舎への設置は平成31年度予算編成の中で検討したい

Q 市役所や公共施設はクールオアシスに位置付けられているが、本庁舎に水飲み場がなく、公民館からも冷水機が撤去されている。なぜ撤去されたのか。再設置はできないか。

A 衛生上の問題等があり、公民館の冷水機は順次撤去しているが、全てのクールオアシスで水道水の提供が可能である。本庁舎の冷水機設置については要望が多くあるので、平成31年度予算編成の中で設置できるか検討したい。



日本共産党
小野 大輔

Q 市民の平和意識の高揚を図り平和事業を推進する

Q 市は、平和行政への更なる一歩を踏み出すべきと考え、見解を伺う。

A 本市では昭和63年に、平和を愛し、自由で明るいまちを築くことを基本理念として、また、健康で平和な住みよいまちを次世代に引き継いでいくことへの決意を込めて、新座市健康平和都市を宣言し、毎年夏に新座市平和展を開催している。引き続き、市民の平和意識の高揚を図り、平和事業を推進する。

Q 災害弱者のためのエアコン設置補助制度の創設を
財政状況が厳しく新たな補助制度の創設は困難である

Q 今夏の猛暑を受け、荒川区では高齢者や障がい者等がいる世帯を対象に、エアコン設置費の補助を始めた。本市でもこうした制度を創設してはどうか。また、生活保護費の夏季加算を国に要望してはどうか。

A 厳しい財政状況の中、新たな補助制度を創設するのは困難だが、緊急対策としての荒川区の取組を今後調査・研究していきたい。夏季加算については、機会を捉えて国に働き掛けていきたい。

Q 私道の非課税や土地分割申請について情報提供を
例図と共に市のホームページに掲載した

Q 市制施行50周年に戦争体験者の手記を刊行してはどうか。①戦争体験者の手記を刊行してはどうか。②健康平和都市宣言には「非核」の文がない。非核都市宣言を表明してはどうか。

A ①戦争体験者の高齢化が進む中、新たに聞き取りを行い、手記を刊行するのは難しい。②本市は非核を含めた広い意味で新座市健康平和都市を宣言しているため、改めて宣言する考えはない。

Q 第二老人福祉センター移転の進捗状況は
高齢者の皆様に親しまれ安全で快適な施設を目指す

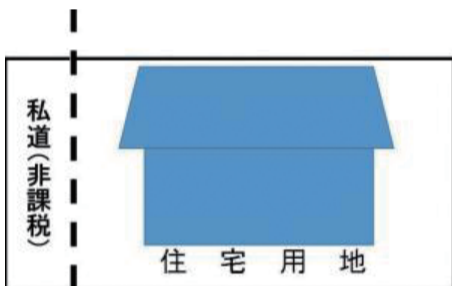
Q 第二老人福祉センターについて、①移転のスケジュールを



■第二老人福祉センター移転予定地 (大和田四丁目)

Q 分筆されていない土地、道路部分は固定資産税が非課税となるのか。非課税の要件を市民が自分で確かめられるよう、情報提供してはどうか。

A 未分筆の私道も非課税としており、評価方法と届出制度について、非課税の対象となる土地の状態を示した例図と共に、市のホームページに掲載した。



■未分筆の私道も非課税となる(画像は市のホームページから)

Q 市制施行50周年の取組として、①戦争体験者の手記を刊行してはどうか。②健康平和都市宣言には「非核」の文がない。非核都市宣言を表明してはどうか。

A ①平成31年1月に建設工事に着手し、平成32年1月に供用を開始したい。②にいざバスがセンター内へ乗り入れる予定である。また、建物の出入口付近に駐車スペースを設置するとともに、雨に濡れないよう庇を設置する。



日本共産党
石島 陽子

Q 保谷朝霞線車線整備に係る将来交通量予測の再検証を
最新データによる再検証を行うよう県に要望する

Q 平成27年度交通センサスによると、練馬所沢線の野寺小学校付近以外の地点では交通量が減っている。県の説明会では平成17年度交通センサスのデータが使われていたが、平成22年度又は27年度のデータに基づいて再検証し、国道254号地点等も含めて交通量を公表して説明するよう県に要望すべきではないか。

A 県に対して、最新データによる再検証及び国道254号地点も含めた公表を要望する。

Q 野寺三丁目集会所の玄関のバリアフリー化を
玄関上がり口段差部にブロックを設置し負担軽減を図った

Q 野寺三丁目集会所では、元気がアップトレーニング等で多くの死亡後の手続きの負担を軽減するお悔やみコーナーの設置を
現時点での設置は考えていないが手続の案内の改善を図る

Q 死亡後の各種手続は複雑で期限もあり、遺族は大切な人を亡くした悲しみの中、大きな負担を強いられる。死亡後の手続をワンストップで行えるお悔やみコーナーを設置してはどうか。

A 本庁舎内のスペース確保や職員の運用体制等の課題があるため、現時点での設置は考えていないが、手続の案内について必要な改善を図っていく。

Q 子どもの権利条例の制定を
現時点で制定する考えはない

Q 新座市子ども・子育て支援事業計画の基本理念である「子

Q ブロック塀の撤去・改修助成制度の創設を
本年10月1日から制度を開始する

Q ①国の防災安全交付金を活用し、地震等により倒壊したブロック塀を撤去するための助成制度を創設すべきではないか。②生け垣設置助成制度を市民が使いやすいものに改善できないか。

A ①本定例会で補正予算が認められたら、10月1日から制度を開始する。②助成対象の基準を見直し、利用しやすい制度に改善する。

Q 野寺三丁目集会所の玄関のバリアフリー化を
玄関上がり口段差部にブロックを設置し負担軽減を図った

Q 野寺三丁目集会所では、元気がアップトレーニング等で多くの死亡後の手続きの負担を軽減するお悔やみコーナーの設置を
現時点での設置は考えていないが手続の案内の改善を図る

Q 死亡後の各種手続は複雑で期限もあり、遺族は大切な人を亡くした悲しみの中、大きな負担を強いられる。死亡後の手続をワンストップで行えるお悔やみコーナーを設置してはどうか。

A 本庁舎内のスペース確保や職員の運用体制等の課題があるため、現時点での設置は考えていないが、手続の案内について必要な改善を図っていく。

Q 子どもの権利条例の制定を
現時点で制定する考えはない

Q 新座市子ども・子育て支援事業計画の基本理念である「子



■新座市子ども・子育て支援事業計画(概要版)



■段差の解消を図った野寺三丁目集会所の玄関上がり口

A 早急な対応策として、段差に対して概ね半分の高さのブロックを段差部に設置し、高い段差の負担軽減を図った。

市政に問う! 一般質問

ダイジェスト



日本共産党 芦野 修

事前通告のないオスプレイの飛来に対し市として抗議を...

7月2日と11日に、突如米軍のオスプレイが新座市上空に...

本件については、埼玉県基地対策協議会を通じて、北関東防衛局長に対し、国の責任で事前...

基地対策に対する事務は、自治体の枠を超えた協力が有効な場面も多く、今後も国や県と連携しながら対応していく。



日本共産党 笠原 進

教職員の多忙化解消に向けた対策は進んでいるか...

教職員の多忙化解消について、市教育委員会はどのような対策を進めているのか...

今年度から全校にICカードによるタイムカードを導入し、在校時間をチェックするなど...

劇的な変化は見られない。労働時間という認識を教職員一人一人に持たせ、主体的には関わらなくてよい業務、アウトソーシングが可能な業務等、業務を分類して仕事に当たることが大事だと考えている。

新座駅から野火止歩道橋に向かう階段に手すりの設置を...

新座駅から野火止歩道橋に向かう階段に、手すりの設置を...

この階段は、隣接するビルが所有し、協定により市が管理...

石神小学校通学路の安全対策の見直しは...

市道第62-13号線の一部をスワールゾーンとすること及び...

市制施行50周年に向けた歴史的公文書の保存・活用方法は...

市制施行50周年に向けて、歴史的公文書の保存・活用を...

50年間の歴史を後世につなげ、また、過去の歴史を市民に理解してもらうことは、シティ...

保育園の待機児童解消に向けた取組は...

保育園の新増設はどのように準備しているのか。また、定員拡大と保育士確保をどのように解決していくのか。法人保育園へ...

申請すると以前に答弁があったが、いつ実現するのか。今後の見直しを伺う。



歩行者用信号機の設置を要望している馬喰橋通りの交差点



政和会 伊藤 信太郎

水防に対する備えは...

近年、ゲリラ豪雨や台風の影響もあり、水防に関する訓練...

水防体制については、平時から消防団等と連携を図り、資機材も配備を進めている。

防災組織へは、各地域の実情等を踏まえ、啓発を行い、必要に応じて補助金を出している。

成年後見制度の取組の進捗状況は...

今年度中には本市の方向性を出すよう検討する。

成年後見の必要性が高まっているが、市の内部組織と外部団体との連携が必要と考えるが、市の取組の進捗状況を伺う。

権利擁護支援の地域連携ネットワークづくりの運営等を担う中核機関を市直営、委託等に...

都市計画道路放射7号線工事の説明会を...

県によると時期は未定だが実施を検討しているとのこと



都市計画道路放射7号線工事現場の様子

放射7号線の工事について、市の介在の下、県から説明を...

求めたいという住民の要望が強くなっているが、市の対応を伺う。

県に要望したところ、時期は未定だが意見交換会の実施を検討しているとのことであった。

実施される場合は市も同席したい。



市民と語る会 木村 俊彦

共に育ち、学ぶことのできる保育環境整備への見直しは...

共に暮らすための新座市障がい者基本条例に基づき、共に育ち、学ぶことのできる保育環境整備に向けた市の考え...

子ども・子育て支援事業計画に詳細に位置づけるべきと考えるが、市の見直しを伺う。

保育所等における障がい児の受入れ体制整備は、重要な課題であると認識している。

各保育施設における障がい児の受入れ状況や課題を把握し、第2次子ども・子育て支援事業計画策定の際

に施策を検討していく。

大地震が発生した際のトイレ対策の周知等を...

市のホームページで啓発を図っていく

集合住宅では、公共下水管の破損、配水管の破裂等を考え、トイレを流さないことを周知...

自宅では、小便、大便、紙類の三つに分けて保管すべきと考えるが、市の考えを伺う。

市のホームページで災害時のトイレ対策の啓発を図っている。自宅トイレの排泄物の保管・処分方法については、引き続き調査・研究する。

避難所での非常用水栓等の設置状況は...

設置に向けて検討する

避難所における飲料水の確保としての緊急遮断弁・非常用水栓の設置状況と窓ガラス対策の考えについて伺う。

小・中学校等の避難所への緊急遮断弁等の設置は、喫緊の課題であり、検討していく。

窓ガラスは、学校用強化ガラス、飛散防止フィルムで対応していく。

小・中学校の窓ガラスに使用している学校用強化ガラス



小・中学校の窓ガラスに使用している学校用強化ガラス

市政に問う！ 一般質問

ダイジェスト



公明党

佐藤 重忠

Q 広報にいざを電子化し広く公開すべき
多額の経費が掛かるため直ちに
対応することは難しい

A 広報紙はその時代を映す大切な存在であり、新座市の歴史をつづった貴重な資料である。第1号から電子化して一般に広く公開し、郷土の歴史の研究資料としての利用を進めてはどうか。

Q 第1号から全てを電子化して市のホームページに掲載するには多額の経費が掛かり、直ちに
対応することは難しい。しかし、紙媒体での保管は劣化により貴重な財産が失われるおそれもある
ので、今後の検討課題としたい。



公明党

白井 忠雄

Q 保育園及び放課後児童保育室の暑さ対策は「暑さ対策ガイドライン」の作成を検討する

A 保育園では、冷房の温度設定を小まめに行い、園児には十分な水分補給を促した。放課後児童保育室では、今年度から全保育室の室外に温度計や熱中症チェックシートを設置した。今後は、暑さ対策に関するガイドラインの作成について検討する。

Q 認知症本人ガイドブックのPRと有効活用を
あらゆる機会を通じて情報提供
していきたい

A 東京都健康長寿医療センターが作成した「本人にとつてのよりよい暮らしガイド」には、認知症と診断されてからの暮らしのヒントがまとめられている。市民へのPRや、教材としての活用を進めるべきではないか。

Q 西堀二丁目大型開発事業地の安全対策は
万全を期すよう工事関係者に指導している

A 市道第43-10号線は西堀小学校と西堀保育園の進入道路であり、周辺住民の生活道路だが、



■西堀小学校へ通じる市道第43-10号線
(写真左側が開発事業地)

Q 大和町三丁目地内に整備を予定している公園において、「じゃぶじゃぶ池」の整備を検討している。新たに整備する公園については、現在運営している「じゃぶじゃぶ池」の利用状況を踏まえ、費用対効果や立地状況等を勘案しながら検討する。

A 大和町三丁目地内に整備を予定している公園において、「じゃぶじゃぶ池」の整備を検討している。新たに整備する公園については、現在運営している「じゃぶじゃぶ池」の利用状況を踏まえ、費用対効果や立地状況等を勘案しながら検討する。



■新座セントラルキッズパークのじゃぶじゃぶ池



公明党

川上 政則

Q 省令が改正され、乳児用液体ミルクの国内製造・販売が可能となった。①災害時の市の備蓄品として確保すべきと考えるがどうか。②平常時における子育ての負担軽減策としても市民に周知すべきと考えるがどうか。

A ①イオンリテール(株)イオン新座店及び(株)セブンイレブン・ジャパンとの協定により、災害時に乳児用ミルク等の生活必需品の供給が可能なので、備蓄せず、協定で対応していく。②育児

Q 乳児用液体ミルクを災害時における市の備蓄品にしては
備蓄ではなく民間との災害協定
で対応する



刷新の会

平松 大佑

Q ①次期指定管理者の選定について、保護者へ丁寧な説明が必要と考えるがどうか。②再来年4月までに一人当たり1・65㎡、40人を1支援単位にする取組が必要だが、施設整備が終わらない場合の取組について伺う。

A ①関係保護者に説明会を開催予定である。市のホームページにFAQを設け、プッシュ型の情報発信は検討する。②コフレンドの活用・既存教室の改修等、期限内に基準を満たすよう取り組む。

Q 市民総合体育館への空調設備の導入を早急に検討すべき
緊急防災対象事業が適用されるか研究する

A 市民が地域への愛着を持つきっかけづくりとして、提案型協働事業の導入は有効である。近隣自治体も参考にしながら、手続や費用負担等を研究していく。

Q 市内文化財のデータベース化を
デジタルデータ保存を進める

A 市内の文化財をデータベース化して保存すべきである。また、個人所有の文化財も相続発生時に所在不明となることもあり、市で守る必要があるのではないかと、現在、市で保存している資料をスキャンするなどデジタル化を進めており、今後は個人や団体所有者に協力を頂きながら、デジタルデータ保存を進めたい。

Q 小・中学校教室のエアコンの運用状況は
各学校で臨機応変に対応している



■各学校ではエアコンの設定温度を臨機応変に対応

Q 学校教育衛生基準では、教室の温度は17℃以上28℃以下が望ましいとされる。体を動かした後は子どもたちの体温が上昇する。エアコンの設定温度を低くするなど臨機応変な対応はできないか。
A 設定温度等については、各学校で臨機応変に対応している。

Q 提案型協働事業を実施しては
近隣自治体も参考にしながら費用負担等を含め研究する

■市民総合体育館メインアリーナ

市政に問う! 一般質問

ダイジェスト



政和会 小池 秀夫

市営墓園の墓地区域の拡張や合葬墓の新設をする計画は合葬墓の設置を検討していき

市民から、市営墓園の墓所使用の抽選に外れ続けているという声が寄せられている。墓地区域の拡張や墳墓の増設を行う考えはないか。また、高齢化により墓所の管理が難しくなってきたという声もある。合葬墓を設置し、そちらに遺骨が移れば、新たな墓所使用希望者を募集することもできると考えるが、市の見解を伺う。



政和会 鈴木 明子

民間プールと連携して小・中学校の水泳授業を実施しては学校のプールを改修しながら水泳指導を進めたい

屋外プールの使用は熱中症の危険等があり、さらに老朽化による維持・改修等に多額の経費が掛かるため、屋内プールのある民間のスイミングクラブと連携して水泳授業を実施してはどうか。本市には民間のスイミングクラブが2か所しかなく、既に多くの方が利用している上に、移動時間のロスが大きいため連携は難しい。多額の経費は掛かるが、原則、学校のプールを改修しながら水泳指導を進めたい。

基準を満たすことができないため考えていない。合葬墓については、墓の跡継ぎに関する相談や、永代供養墓を別に確保したことによる墓所の返還も多いため、設置を検討していき

黒目川河川敷の管理徹底を

必要に応じて対処していく

①雑草刈り等の管理責任は、県と市でどのように分担されているのか。②桜並木の枝が遊歩道まで伸びて危険な箇所がある。剪定を行う考えはないか。③土手に生える草木の生長によって、台風等の際に崩落する危険はないか。事前に伐採すべきではないか。



黒目川沿いに設けられた遊歩道

している。それ以外の区域は県が管理している。②現地確認により、必要に応じて剪定している。指摘を頂いたため、剪定を行った。③朝霞県土整備事務所によれば、樹木の根が原因で崩落することはないが、河川の増水時に流れを阻害するおそれのある樹木は随時撤去していくことであった。

家庭で出る食品ロスの削減に向けた取組を検討しては

家庭で出る食品ロスの削減に向けた取組を検討しては

11月に開催する秋のリサイクルマーケットでフードドライブを実施する予定である。また、

オリパラの気運醸成のため駅等に階段アートの展示を

高いPR効果が見込まれるため検討を進める

市民、中学生、高校生等からオリンピック・パラリンピックをテーマとしたデザインを募集し、志木駅、新座駅及びほっとぷ



熊谷駅に展示された階段アート

らぎの階段に作品を展示することで気運を醸成してはどうか。

多くの利用者が見込まれる階段を装飾することは非常にPR効果が高いと考えている。経費、設置場所、デザインを公募するかどうかも含めて検討を進める。設置場所については、関係機関と十分に協議する。



市民と語る会 高邑 朋矢

不登校の子どもたちに寄り添う進路指導を適切な進路指導を行うよう各学校に指示している

不登校の子どもたちと保護者が卒業後の進路で悩んでいる。もう少し不登校の子どもたちに寄り添う進路指導はできないか。県では、不登校の生徒を対象にした特別な選抜が行われており、埼玉県公立高等学校入学者選抜実施要項等説明会に校長等が参加し、特別な選抜について不登校の生徒に説明している。また、市で開催している進路指導主事研修会においても、適切な進路指導を行うよう各学校に指示している。

放課後児童保育室指定管理者選定では現場の声を聴くべき指定管理者が変更となる保育室では説明会を開催する

放課後児童保育室の次期指定管理者選定に当たり、現場の声を聴き、保護者が納得する形で進んでいるか。子どもたち、指導員の不安が解消される形で説明はされているか。

次期指定管理者の候補者が決定した段階で、指定管理者が変更となる保育室において説明会を開催し、できる限り丁寧に説明して不安の解消に努めていきたい。

認可外家庭保育室等の情報を市ホームページで公開すべき家庭保育室以外の認可外保育施設の情報も掲載している

認可外家庭保育室に頼るしかない保護者も多い中、その情



政和会 助川 昇

小・中学校での暑さ対策・熱中症予防策は今年から大規模なエアコン清掃等を実施する

①小・中学校校舎高層階では、エアコンが効かず、熱中症気味になった児童・生徒がいた。今後の暑さ対策・熱中症予防策について伺う。②緊急避難場所に指定されている小・中学校体育館での暑さ対策の考えを伺う。①エアコン清掃等を今年から3年間をかけ実施し、経過を観察したい。環境整備だけでなく水分補給等も考え、養護教諭等と協議し、対策を図っていき

野火止用水の水質改善についての市の考えは引き続き水質改善に努力していく

地域では、蜚の幼虫の餌となるカワナナ等が野火止用水に生息できる水質への改善を要望しているが、市の考えを伺う。簡易水質検査結果では、生物学的酸素要求量が環境基準以下の数値で推移している。ボランティア団体の清掃活動や野火止用水クリーンキャンペーンにより、ごみの不法投棄が減少していることから、この活動を推進し、清流が戻る野火止用水にしたい。

さいたま東村山線(志木街道)の安全対策は県に改善等の要望を行った

報を知ることができない状況がある。認可外家庭保育室等の情報を市のホームページで公開すべきと考えるが、見解を伺う。

情報提供をしていなかったが、現在は市のホームページに掲載している。



認可外保育施設の情報市ホームページに掲載

志木街道・野火止三丁目10番付近の道路線形が危険であり、大きな事故も起きている。再度、県に改善を要望すべきである。

再度、朝霞県土整備事務所に対し、道路線形の引き直しと併せ、それまでの対策として注意喚起の看板設置等安全対策を要望した。



安全対策が求められる志木街道

市政に問う! 一般質問

ダイジェスト



政和会 森田 輝雄

シティプロモーションの具体的な動きは

関連する様々な事業に市として
タイアップしていく

Q 新たにシティプロモーション課が設置されたが、方針の策定だけで終わってしまうことを懸念している。市が庁外の様々な事業に参画し、事業を活性化させ、魅力あるものにするべきと考えるが、見解を伺う。

A シティプロモーションに関連するイベントに市としてタイアップしていくことが重要と考えているので、しっかりとアンテナを張り、こちらから仕掛けていきたい。

オリンピック・パラリンピックに向けた具体的な取組を関係機関と連携しながら迅速に対応していく

Q 大会は2年後だが、本市はブラジルのホストタウンとして、来年にはテストキャンプが行われる。市ができることについて、もっと積極的に関係機関との調整に関わり、提案や協力をすべきではないか。

A 契約締結に向けた協議は順調に進んでいる。テストキャンプの件についても、できる限り早い段階で報告したい。突然の依頼も多いが、関係機関と連携しながら迅速に対応していきたい。

大和田二丁目の大型店舗開店に合わせた市の取組は

今後店舗と連携していきたい



大和田二丁目に建設中の大型店舗

Q 大和田二丁目の大型店舗の開店に合わせ、店舗と協力してオリンピック・パラリンピックや市制施行50周年をPRできるイベントを企画してはどうか。

A 本市では特段の要請はしていないが、防災協定の締結やイベントの開催については打診を受けており、その他についてもしっかりとタイアップしていきたい。

陳情

今定例会で審査した陳情

陳情第4号
条例の改正及び資産課税の軽減に関する陳情書(陳情事項3・4・6項)

付託先 総務常任委員会
審査結果 趣旨採択

陳情第4号
条例の改正及び資産課税の軽減に関する陳情書(陳情事項5・7項)

付託先 文教生活常任委員会
審査結果 趣旨採択

陳情第4号
条例の改正及び資産課税の軽減に関する陳情書(陳情事項1・2項)

付託先 建設常任委員会
審査結果 採択

陳情第5号
放課後児童保育室(学童)の指定管理者公募に関する、利用者への説明会開催を望む陳情書

付託先 厚生常任委員会
審査結果 不採択

陳情第6号
東海第二原発の運転期間延長を行わないことを求める意見書に関する陳情書

付託先 総務常任委員会
審査結果 採択

平成30年7月豪雨被害へ義援金

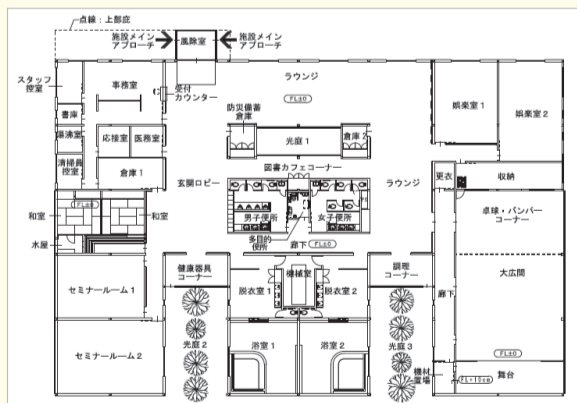
この度の平成30年7月豪雨被害の報を受け、新座市議会(新座市議員会)では、被災された地域へ30万円を支援することとし、全国市議会議長会が開設した災害義援金口座へ8月1日に送金いたしました。

本議会といたしましては、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、犠牲になられた方々の御冥福と一日も早い復旧・復興を、謹んでお祈り申し上げます。

市長から報告を受けました

全員協議会から

◆8月29日
1 第二老人福祉センターの移転事業について
実施設計がまとまり、今定例会に提出した一般会計補正予算において、第二老人福祉センター整備費として7億248万2千円を計上した。建設予定地は、大和田四丁目地内、敷地面積の合計は現況より250㎡広い約2千895㎡で、全て借地となる。敷地内には、駐車場20台、駐輪場80台分を確保する。



第二老人福祉センター 平面図

2 市内公共施設等に設置されているブロック塀への対応について
去る6月18日に発生した大阪北部地震でのブロック塀倒壊の事故を受け、学校施設及び学校施設を除く市有施設並びに民間のブロック塀について、状況を確認した。

まず、学校施設については、市内の全小・中学校でブロック塀の現地調査を行ったところ、23校中13校、21か所で建築基準法に適合していないことを確認した。このうち、すぐに着手した8月中諸工事(西堀小学校外7校)を先行して対応している。また、8月予算費設計・3月補正工事(東野小学校・第二中学校)及び9月補正設計・3月補正工事(東北小学校外4校)は、工事内容が複雑で大規模なものとなるため設計委託を行うこととした。

断じたため、予備費を活用し、先行して着手している。
続いて、学校施設以外の市有施設については、市有施設、公園、水道施設等359か所を点検したところ、ブロック塀が存在した施設は110か所あり、そのうち現行の建築基準法に適合していないものが10か所あった。これらについても、早急に対応する。
最後に、民間ブロック塀については、市内の民間ブロック塀等の状況を把握するため、道路パトロールと併せ、市が管理する道路及び水路に面するブロック塀等で、①高さが2.2mを超えるもの、②高さが1.2mを超えひび割れ又は傾きがあるもの、③ブロック塀以外で危険性がある塀の状況調査を行ったところ、本年8月9日現在で213件の危険なブロック塀等があることが判明した。そこで、今後倒壊による事故を防止するため、危険なブロック塀等の撤去又は撤去及び築造する工事に対して助成制度を創設することとした。
助成に関する主要な要件は、道路、公園等の公共施設に面している、道路面からの高さが1.2mを超え、地震で倒壊するおそれがあるブロック塀等とし、施工業者については、地域経済の振興のため、市内事業者を対象とする。次に、助成額については、撤去工事に対しては、危険なブロック塀等の長さ1m当たり5千円を乗じた額とし、20万円を限度とする。また、危険なブロック塀等の撤去を行った後に新たに築造を行う場合には、1m当たり1万5千円を乗じた額とし、40万円を限度とする。
なお、危険なブロック塀等撤去等助成金300万円を今定例会に補正予算として提案しており、本年10月1日からの実施を予定している。

平成30年9月定例会 議案等の審議結果

●賛否が分かれた議案等の審議結果

(○賛成 ×反対)

区分	議案等番号	件名	議決の結果	公明党					日本共産党					市民と語る会	政和会					日本維新の会	刷新の会	賛成	反対						
				亀田博子	川上政則	滝本恭雪	白井忠雄	鈴木秀一	野中弥生	佐藤重忠	笠原進	工藤薫	石島陽子		小野大輔	芦野修	辻実樹	高田朋矢	木村俊彦					平野茂	森田輝雄	小池秀夫	島田久仁代	鈴木明子	中村和平
市長提出議案	69	専決処分の承認を求めることについて〔新座市老人デイサービスセンター条例の一部を改正する条例〕	承認	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	8	
	71	新座市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	2
	73	新座市重度心身障がい者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	8
	76	平成30年度新座市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	2
	81	平成30年度新座市都市計画事業大和田二・三丁目地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	2
	82	平成29年度新座市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	8
	83	平成29年度新座市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	8
	86	平成29年度新座市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	8
	87	平成29年度新座市都市計画事業新座駅北口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	8
88	平成29年度新座市都市計画事業大和田二・三丁目地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	8	
92	新座市道路線の認定について〔市道第43-106号線、同第65-66号線及び同第66-56号線〕	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	8	
議員提出議案	17	東海第二原発の運転期間延長を行わないことを求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	17	8	
	19	キャッシュレス社会の実現を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	8
	22	介護保険に係る国庫負担割合の大幅引上げを求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	8	17
	23	米軍横田基地へのCV-22オスプレイの本格配備に反対する意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	8	17
	24	消費税の10%増税中止を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	9	16
	25	75歳以上の医療費負担の原則2割化を実施しないことを求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	8	17
26	新座市国民健康保険条例の一部を改正する条例	否決	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	8	17	
陳情	4	条例の改正及び資産課税の軽減に関する陳情書(陳情事項3・4・6項)	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	8	
	4	条例の改正及び資産課税の軽減に関する陳情書(陳情事項5・7項)	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	8
	5	放課後児童保育室(学童)の指定管理者公募に関する、利用者への説明会開催を望む陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	8	17
	6	東海第二原発の運転期間延長を行わないことを求める意見書に関する陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	17	8

※陳情第4号(陳情事項3・4・6項)及び陳情第4号(陳情事項5・7項)の賛否の表記「×」:「趣旨採択」とすることに反対

●全会一致で原案可決等(認定)した市長提出議案

第70号	新座市生産緑地地区の区域の規模に関する条件を定める条例
第72号	新座市手数料条例の一部を改正する条例
第74号	新座市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料に関する条例の一部を改正する条例
第75号	新座市議会議員及び新座市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例
第77号	平成30年度新座市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
第78号	平成30年度新座市下水道事業特別会計補正予算(第1号)
第79号	平成30年度新座市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
第80号	平成30年度新座市都市計画事業新座駅北口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)

第84号	平成29年度新座市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
第85号	平成29年度新座市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
第89号	平成29年度新座市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
第90号	工事請負契約の締結について〔(仮称)新座市福祉型児童発達支援センター建設工事〕
第91号	新座市道路線の認定について〔市道第41-139号線〕
第93号	新座市道路線の認定について〔市道第52-58号線〕
第94号	新座市道路線の認定について〔市道第65-65号線〕
第95号	新座市と朝霞市との間の下水の処理に関する事務の委託について
第96号	平成30年度新座市一般会計補正予算(第4号)

●全会一致で原案可決した議員提出議案

16号	資産課税の軽減に関する意見書
18号	水道施設の戦略的な老朽化対策を求める意見書

20号	児童虐待防止対策の更なる強化を求める意見書
21号	学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全確保を求める意見書

●全会一致で採択した陳情

4号	条例の改正及び資産課税の軽減に関する陳情書(陳情事項1・2項)
----	---------------------------------

地方の声を国へ

今定例会に提出された意見書は11件で、そのうち6件が可決されました。可決された意見書は、9月27日付けで関係機関に送付しました。

資産課税の軽減に関する意見書

送付先
内閣総理大臣
財務大臣
農林水産大臣

東海第二原発の運転期間延長を行わないことを求める意見書

送付先
内閣総理大臣
経済産業大臣
環境大臣
原子力規制委員会委員長

水道施設の戦略的な老朽化対策を求める意見書

送付先
内閣総理大臣
厚生労働大臣
国土交通大臣

キャッシュレス社会の実現を求める意見書

送付先
内閣総理大臣
財務大臣
経済産業大臣
国土交通大臣

児童虐待防止対策の更なる強化を求める意見書

送付先
内閣総理大臣
厚生労働大臣
文部科学大臣
総務大臣
国家公安委員会委員長

学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全確保を求める意見書

送付先
内閣総理大臣
文部科学大臣
総務大臣
国土交通大臣